

中小企業論 A		准教授 八木 孝幸	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目、会計ファイナン スコースの専門選択科目、 経営・経済コースの専門選 択科目 教職科目	科目ナンバリング	23222207 25320221

1. 授業のねらい・概要

統計によれば、日本の全企業数に占める中小企業の割合は 99.7%、全企業の雇用者数に占める中小企業雇用者の割合は 70.1%と、中小企業の問題は日本人にとっても身近な問題である。この『中小企業論』は、そんな日本人にとっても身近な問題である中小企業の問題を理解していこうとする講義である。

講義内容の詳細については「授業計画」の項にゆずるが、前期は主に「中小企業とは何か」について講義を行う予定である。

2. 授業の進め方

テキストは用いず、板書を中心に講義を行う予定である。資料の配布は適宜行う。

3. 授業計画

1. 中小企業の特徴	9. イノベーションの担い手としての中小企業
2. 中小企業を区分する基準	10. 中小企業の経営特性①（非組織的な意思決定）
3. 日本における中小企業の区分基準	11. 中小企業の経営特性②（低い市場占有率）
4. 中小企業基本法による中小企業の定義	12. 中小企業の経営特性③（制約の多い経営資源）
5. 近年の中小企業政策の動向	13. 子会社と関連会社
6. 日本経済における中小企業の地位	14. 系列会社とその事例
7. 大企業の補完的役割を果たす中小企業	15. 本講義の総まとめ
8. 地域経済の活性化に貢献する中小企業	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義計画を参考に、次回講義までに参考文献などを読んで2時間以上の予習をしておくことが望ましい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施（あるいはレポート提出）の後、解答などを掲示板に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

日本人にとって身近な問題である中小企業の問題について理解を深めた上で、議論が行えるようになることを目標としている。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の結果（50%）及び授業への取り組み姿勢（50%）によって評価する。ただし、定期試験の結果が授業への取り組み姿勢の評価のいずれかが59点以下になった場合は、不可とする。

8. テキスト・参考文献

〈参考文献〉

- （1）井上善海・木村弘・瀬戸正則編『中小企業経営入門』中央経済社、2014年。
- （2）関満博『日本の中小企業——少子高齢化時代の起業・経営・承継』中央公論新社、2017年。

(3) 高田亮爾・上野紘・村社隆・前田啓一編『現代中小企業論』同友館，2009 年。

9. 受講上の留意事項

本講義の履修に関して特に制限はないが、『経営学基礎』の単位が取得済みであることが望ましい。なお，座席表作成の都合上，履修希望者は初回より必ず出席のこと。